

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	臨床薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	通年	教室名	
担当教員	北野 富美雄	実務経験とその関連資格	八尾徳洲会総合病院に薬剤師として勤務。業務は調剤(入院・外来)、服薬指導(入院・外来) 薬品管理 薬品情報提供 新薬治験・研究 製剤(院内薬品) 医薬品の再評価・審査などに従事			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士に関連性があり、日常でよく使用される薬剤 ①呼吸 循環においては救急医薬品 降圧剤 強心剤 昇圧剤 気管支拡張剤 ②手術においては 麻酔薬 麻薬 筋弛緩剤 抗コリン剤 ③抗炎症においては NSAIDs ステロイド ④血液においては 抗凝固剤 抗血小板剤 ⑤抗生剤 抗ウイルス剤 抗真菌剤等の使用法、副作用 注意点 使用禁忌などを学ぶ。それにより、必要な薬物を正しく理解できる。国家試験に出題されているので、国家資格取得に寄与できる。						
《成績評価の方法と基準》						
本試験(記述形式) 70% 出席点 20% 授業態度 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
わかりやすい薬理学 第3版 編集 安原一 小口勝司 発行所 NOUVELLE HIROKAWA 臨床工学技士国家試験問題						
《授業外における学習方法》						
講義の前後につながりがあるので、前回の練習問題を確認してほしい。次回にするとところを予習してほしい。						
《履修に当たっての留意点》						
わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	手術Ⅰ 麻酔 全身麻酔 局所麻酔の薬物が理解できる	教科書 配布プリント	麻酔薬の予習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	手術での吸入麻酔(亜酸化窒素 セボフルラン) 静脈麻酔(プロポフォール チオペンタール)局所麻酔(リドカイン オキシブプロカイン プロカイン)について副作用 注意点を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	手術Ⅱ 筋弛緩剤 抗コリン剤 抗不安剤 が理解できる	教科書 配布プリント	麻酔薬の復習と筋弛緩剤、抗コリン剤の予習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	手術での末梢性筋弛緩剤(ロクロニウム ベクロニウム サクシニルコリン) 抗コリン剤(アトロピン) 抗不安剤(ミタゾラム ジアゼパム) 使用法 副作用 注意点を学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	麻薬 向精神薬の使用法 副作用 薬物依存症が理解できる	教科書 配布プリント	筋弛緩剤の復習と麻酔薬の予習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	麻薬 向精神薬の使用法 副作用。薬物中毒 麻薬 覚醒剤 大麻 等の薬物依存症とは 薬物依存症の治療について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗炎症剤 NSAIDs ステロイド が理解できる	教科書 配布プリント	麻酔薬の復習とNSAIDsステロイド剤の予習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	抗炎症剤 NSAIDsについて(アセトアミノフェン アスピリン インドメタシン) ステロイドについて(プレドニゾロン ベタメタゾン) 薬理作用 副作用 注意点について学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急医薬品が理解できる	教科書 配布プリント	NSAIDs、ステロイドの復習と救急医薬品の予習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	救急に対応する薬物。心停止 ショック 不整脈 血栓塞栓症、気管支喘息発作、疼痛 痙攣 低血糖 出血 腹痛 薬物中毒 など救急医薬品について使用法 副作用 注意点を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液基礎 凝固系、線溶系に作用する薬物 抗血小板 抗凝血薬 血栓溶解剤 止血剤 が理解できる	教科書 配布プリント	NSAIDs、ステロイド剤の復習と抗凝固剤の予習
		各コマにおける授業予定	抗凝血薬 ヘパリン ワルファリン 抗血小板薬 アスピリン チクロピジン 血栓溶解剤t-PA(アルテプララーゼ) 使用法 副作用 注意点を学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物代謝 I が理解できる	教科書 配布プリント	抗凝固剤の復習と薬物代謝 I の予習
		各コマにおける授業予定	薬物代謝 肝臓の機能 腎臓の排泄機能 経口投与 初回通過効果 生物半減期 半減期の延長 TDM(薬物血中濃度モニタリング) 治療係数 ED50 LD50について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物代謝 II が理解できる	教科書 配布プリント	薬物代謝 I の復習と薬物 II の予習
		各コマにおける授業予定	治験についてGCP(医薬品臨床試験実施基準)IRB(治験審査委員会) 耐性 薬物蛋白結合率 副作用(有害作用 有害反応) 催奇形性 母乳薬物移行について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患 狭心症 心筋梗塞の薬物療法が理解できる	教科書 配布プリント	薬物 II の復習と虚血性心疾患の予習
		各コマにおける授業予定	虚血性心疾患の成因 狭心症治療薬 ニトログリセリン舌下錠 βブロッカー カルシウム拮抗剤 心筋梗塞 モルヒネ t-PA 血栓溶解剤 注意点 使用法、副作用について学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脂質異常症治療薬 糖尿病治療薬が理解できる	教科書 配布プリント	虚血性心疾患の復習と脂質異常症治療薬 糖尿病治療薬の予習
		各コマにおける授業予定	脂質異常症治療薬(プラバスタチン アトルバスタチン ベサフィブラート) 糖尿病治療薬(インスリン製剤 経口 グリメピリド アカルボース)使用法 副作用 注意点を学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全 急性 慢性 薬物療法が理解できる	教科書 配布プリント	脂質異常症治療薬 糖尿病治療薬の復習と心不全の予習
		各コマにおける授業予定	急性心不全の薬物療法 強心剤 ドパミン ドブタミン 利尿剤 血管拡張剤 ニトログリセリン 慢性心不全の薬物療法 強心剤ジギタリス ACE阻害剤 ARB 利尿剤について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管支喘息治療薬が理解できる	教科書 配布プリント	心不全の復習と気管支喘息治療薬の予習
		各コマにおける授業予定	ステロイド剤(吸入 注射 経口) 気管支拡張剤 β2刺激剤(サルブタモール サルメテロール) テオフィリン 抗コリン剤について使用法 副作用 注意点を学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高血圧 降圧剤が理解できる	教科書 配布プリント	気管支喘息治療薬の復習と降圧剤の予習
		各コマにおける授業予定	利尿剤 ヒドロクロチアジド β遮断剤 プロプラノロール Ca拮抗剤 ニフェジピン ACE阻害剤 カプトプリル ARB ロサルタン バルサルタン 使用法 副作用 注意点を学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎疾患 慢性腎不全治療薬が理解できる	教科書 配布プリント	降圧剤の復習と慢性腎不全治療薬の予習
		各コマにおける授業予定	慢性腎不全治療薬 降圧剤 リン吸着剤、カルシウム VD3 エリスロポエチン クレメジン 炭酸水素ナトリウム 利尿剤 K吸着剤 陽イオン交換樹脂についての使用法 副作用を学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症 微生物 抗生物質が理解できる	教科書 配布プリント	慢性腎不全治療薬の復習と感染症疾患、抗生物質の予習
		各コマにおける授業予定	細菌 グラム陽性菌 陰性菌 リケッチア クラミジア マイコプラズマ 真菌 ウイルス 原虫の特徴 抗生物質 抗ウイルス剤 抗真菌剤についての使用法 副作用 注意点を学ぶ		